

「超高齢地域支え合いモデル事業」

(平成24年度～平成25年度事業)

目的

中央区では一部の地域では高齢化率が30%を超える地域もある中、単身高齢者が増加している。このような社会情勢の変化に伴いかつては三世帯家族の同居によって家族が高齢者の生活を支えたが、家族以外の担い手の創出が不可欠となっていることから、高齢者に身近な存在(=地域住民)を核とした支え合いの関係づくりが急務となっている。

地域住民と企業体が一体となって高齢者の見守りや生活支援等に取り組む地域づくりを行う団体に対して支援を行うことにより、高齢者の社会的孤立を防ぎ、地域で安心して生活できるまちづくりを進める。

効果

- ・社会的に孤立している単身高齢者等の減少
- ・地域住民同士の繋がりが深まることによるコミュニティの基盤強化

内容

高齢化率30%以上の地域である栄小学校区及び入舟小学校区において、地域自らが取り組む見守り、食料品の移動販売等の生活支援、地域交流、高齢者への各種情報提供などの地域づくりに対し支援を行う。

地域住民が中心となって単身高齢者などの情報収集や把握を行い、様々な生活支援のメニューを用意し、個々に合ったサービスを利用してもらうことにより、地域住民同士が繋がりを、高齢者の社会的孤立を防ぐ。

サービスの提供は自治会、民生委員、新聞販売店、商店・事業所、地区社協などが一体となって行う。

【具体的な取り組みの例】

- ・見守りが必要と思われる人への情報提供
- ・高齢者の買い物・通院・ゴミ出し等生活支援
- ・地域住民による高齢者の見守り
- ・高齢者への各種制度やサービスの説明
- ・地域交流ができるサロンの開設 など

【写真】7月4日に開催したモデル事業実施準備会。地域の自治会長や民生委員などが集まり、超高齢地域における問題などを洗い出した。



「あんしん見守り支援事業」

(平成23年度～平成24年度事業)

目的

今後一段と高齢化が進む中、高齢者をはじめ児童・障がい者などを見守る体制の整備が重要となっている。その中で「ふれあいいいきサロン」や「多世代交流サロン」などは、地域の中で人と人を結ぶ交流の場として、また気軽に無理なく楽しく過ごせる『居場所』として、地域で重要な役割りを果たしている。その資源をこれからも有効に活用していけるよう、また新たな地域での新たな取組みが始まるよう支援していくとともに、住み慣れた地域での安心・安全な暮らしを確保する。

効果

地域で行うゆるやかな見守りの実施を支援することにより、子どもからお年寄りまで安心して暮らせるまちづくりを目指すとともに、地域住民の繋がりを強め、地域コミュニティの充実を図る。

内容

一人暮らしの高齢者などを、地域が支えあい、気軽に声を掛け合う地域づくりを進めるため、地域から編集委員を募り「地域見守り活動マップ」を作成する。活動中の地域のサロンなどのほか、休憩スペースなどを提供している商店・事業所など、地域をあらためて見つめなおしてもらい、地域の役立つ情報を併せて紹介することにより、サロンなどの利用の促進と新たな地域活動のきっかけづくりになるよう発行する。

①地域見守り活動マップ作成事業

- ・平成23年7月から月1回（計6回）の編集会議を行い、3月完成
- ・編集委員の構成 各コミ協単位で3～4名参加（コミ協、民協に推薦依頼）
- ・発行部数 10,000部 自治・町内会の班回覧にて周知するほか、区役所、出張所等に設置して配布

②中央区地域健康福祉計画啓発事業

地域のコミ協や民協などに出向き、地域活動支援

平成24年度の事業

内容

さらに地域の意見や考え方を取り入れて、高齢者の視点に立ってマップを見直し、地域の新たな情報を加えた改訂版を発行する。

「地域ですすめる健康づくり」

(平成23年度～平成24年度事業)

目的

超高齢社会を迎え、単身世帯が増加する傾向のなかで、どの世代においても「元気」でかつ「健康」に暮らすことが大きな課題となっている。しかし、一方で、特に中高年齢層は健康に関心があっても多忙な日常生活の中で行動につながらない現状にもある。

そこでコミ協を核とし、区と協働で健康づくりができる環境を整備するとともに、身近な地域で地区住民が健診等を通して健康増進意識の醸成が図られることを推進する。

効果

区とコミ協、地域住民の協働により高齢者の健康増進意識の醸成を図り、かつ実践することを通して、健康で安心して暮らせるまちづくりを目指すとともに、地域住民のつながりを強め、地域コミュニティの充実が図れる。

内容

鏡淵小学校区コミュニティ協議会と区の協働で地域にある(財)新潟県保健衛生センターを活かした健康づくり環境を整備する。

健康であることの大切さを再認識し、また健診受診の勧奨や実践的な健康づくり継続化を考慮した環境づくりも行う。

①地域ですすめる健康づくり講座を実施(全8回)

60歳以上の高齢者を対象とした健康づくりについて学ぶ講座を開設
(専門講師による講義) 延べ人数268名(実人数45名)

②がん健診の増設

健康管理のために健診受診の必要性を理解するとともに、検診日を増設

③健康づくり環境の整備

健康管理面から運動を実践する「鏡淵ふれあいスポーツクラブ」を9月より実施

- ・ふれあいセンター鏡淵 3階
木・金・土曜日の午前10時から午後4時まで
インストラクター、看護職員が各1名従事

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
参加者	139	136	93	95	103	65	86	717

平成24年度の事業

内 容

鏡淵コミュニティ協議会と区の協働で、地域にある（公財）新潟県保健衛生センターを活かした健康づくり環境を整備する。次年度以降は、コミ協主体で地域の健康づくり活動をすすめていくことを目指す。

①地域ですすめる健康づくり（健康づくり大学）の開催

60歳以上の高齢者を対象に健康づくりについて学ぶ講座を実施。（財）新潟県保健衛生センターに業務を委託。

- ・平成24年7月～11月まで9回開催 定員50名

②地域ですすめる健康づくり鏡淵ふれあいスポーツクラブの設置

・健康づくりのための運動の実践と継続。体調の自己管理をするため、インストラクターや看護師の配置。

- ・4月～3月 週3回（木・金・土） 鏡淵コミュニティ協議会に運営を委託。

③鏡淵小学校区コミュニティ協議会との連携

- ・健康づくり大学では、周知及び参加者の取りまとめなどを担ってもらう。
- ・今後、地域の健康づくりをすすめていく核となる人材の発掘・支援。
- ・ふれあいスポーツクラブの管理運営を委託し、次年度以降の自主運営化に向けて協議する。

「みんなで子育て！笑顔にな～あれ！！」

(平成22年度～平成24年度事業)

目的

「子育ては親育ち」をテーマに、生まれる前から子どもの発達や成長がイメージ出来るよう支援し、また、休日に気軽に立ち寄り相談できる場を提供することで、子育てへの不安や悩みが軽減され、楽しく子育てができる環境づくりを推進する。

効果

早期に母と子の愛着形成を図り、育児の不安や不慣れをなくすと共に虐待の予防へとつながる。

内容 23年度実績

①「プレママ♡おしゃべり&体験会」

妊婦を対象とし、先輩ママの体験談を聞きながらのグループワークや赤ちゃん人形を使用しての育児体験をとおり、仲間づくりを支援し、産後うつ予防を図る。

- ・開催会場 東・南・中央地域保健福祉センターの3会場
- ・開催回数 月1回実施
- ・定員 各回12人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	4	12	7	9	3	5	4	6	9	4	8	4	75

※平成22年度実績 70名

②「にこにこスキンシップ」

生後3か月～5か月頃の乳児を対象に、親子のスキンシップや心身のリラックスの方法について体験してもらい、愛着形成を図りながら、仲間づくりの支援を行なう。

- ・開催会場 東・南・中央地域保健福祉センターの3会場
- ・開催回数 月1回実施
- ・定員 各回親子10～15組

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	12	13	10	14	14	14	10	15	15	15	10	13	155

※平成 22 年度実績 131 組

③「中央区 にちよう✧育児相談室」

平日に行なわれることの多い育児相談を、休日の商業施設(デッキイ 401)において開催する。

- ・開催会場 デッキイ 401 地階コミュニティールーム
- ・開催日時 月 4 回 日曜 午後 1 時 30 分～3 時 30 分
- ・従事者 保育士、保健師等看護職

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	49	73	78	83	53	65	78	79	57	90	52	74	831

※平成 22 年度実績 727 人

④「子育て情報誌『たっち』の発行」(H23新規)

短時間でも子どもを預けられるサービスの紹介や、父親の育児参加を促す取り組みなど、子育てリフレッシュ策の紹介を中心とした情報誌を発行。

- ・発行部数 16,000 部 (第 1 号、第 2 号各 8,000 部)
- ・こんにちは赤ちゃん訪問において、助産師・保健師が渡すほか、区役所、地域保健福祉センター、医療機関、子育て支援センター等に設置するなどして配布。

平成24年度の変更点と追加事業

内 容

①「プレママ♡おしゃべり&体験会」を安産教室で実施。

従来からある安産教室(3回1コース)の2回目に取り入れる。

- ・開催会場 東・南・中央地域保健福祉センターの3会場
- ・開催回数 月1回実施予定
- ・定員 各回20人